

(別紙)

### 水稻の刈取状況（10月15日現在概況速報）について

- 1 10月15日現在、県全体で86%の水田で刈取りが終了している。
- 2 刈取始期（10%）は9月23日頃と平年より2日早く、刈取盛期（50%）は10月3日頃で平年より1日早かったものの、現在は概ね平年並みの進捗となっている。
- 3 地帯別の進捗は、北上川上流・下流・東部がいずれも86%、北部82%となっており、北上川上流を除き、やや遅れがみられる状況となっている。

表1 水稻の地帯別刈取状況（10月15日現在、各農業改良普及センター調べ）

地帯名	10月15日現在進捗(%)		本年(月/日)			平年(月/日)			平年差(日)		
	本年	平年	始期	盛期	終期	始期	盛期	終期	始期	盛期	終期
北上川上流	86	84	9/23	10/4	-	9/23	10/4	10/15	±0	±0	-
北上川下流	86	90	9/22	10/3	-	9/25	10/4	10/13	-3	-1	-
東部	86	93	9/23	9/29	-	9/24	10/1	10/11	-1	-2	-
北部	82	84	9/27	10/4	-	9/27	10/6	10/15	±0	-2	-
県全体	86	88	9/23	10/3	-	9/25	10/4	10/13	-2	-1	-

1) 平年値：過去10カ年（H21～30）の平均値

2) 刈取作業の進捗・・・10%：始期、50%：盛期、90%：終期

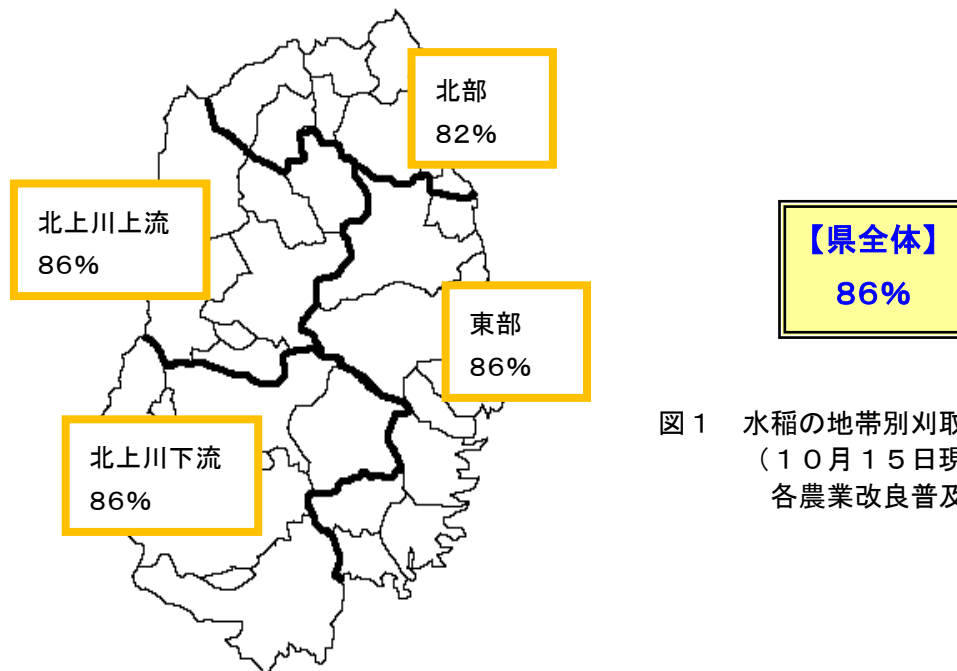


図1 水稻の地帯別刈取状況  
（10月15日現在  
各農業改良普及センター調べ）

### 3 管理のポイント

- ・県内の水稻は既に成熟期を過ぎており、刈遅れによる品質低下が懸念されることから、速やかに刈取りを行うこと。
- ・台風により倒伏した圃場では、作業速度を遅くし、刈分けにより品質確保に努めること。
- ・収穫時期は日没が早まるので、計画的に作業をすすめ、農作業安全に心がけること。
- ・籾の乾燥は二段乾燥を心がけ、玄米水分15%以下に仕上げること。
- ・自然乾燥では、乾燥期間は2週間以内とし、乾燥が不十分な時は乾燥機で仕上げること。

※今回の報告が最終です。